



このたび新規加入しましたフセラシです。



はじめまして。この度、協豊会に加入しました株式会社フセラシです。

1933年の創業以来、フセラシはお客様のさまざまなニーズにお応えするべく圧造・鍛造技術を活かして、多くの自動車用部品などを造ってまいりました。

フセラシの名前の由来は、1967年(昭和42年)2月まで大阪府東部に布施市(現在の東大阪市)が存在しました。その「布施」(ふせ)にある「螺子」(らし)の工場【フセラシ】が社名の由来となっております。

現在も東大阪を本拠地として国内では群馬、三重、大阪、大分、海外では米国(オハイオ州)、中国(浙江省)、タイ(ラヨン県)に各生産拠点をもち、圧造設備159台、鍛造設備73台、ねじ加工機424台、NC加工機66台をはじめ、さまざまな設備を各拠点に保有し、また高精度3次元測定機や画像測定機も拠点に設置しております。



フセラシ本社



Fuserashi International Technology Inc. (米)



寧波長華布施螺子有限公司(中国)



FUSERASHI (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

地球環境保全活動の高まりで、益々需要が増えるハイブリッド車(HEV)や電気自動車(EV)のバッテリー・充電パーツ、またIT(情報技術)の発展に伴うスマートフォンに使用されるネクタピン、都市を構成する様々な建築・橋梁部品の高い安全性と施工性を兼ね備えた補強部品など新しいテーマへの取り組みに歩調をあわせて、仕事の領域も部品製造業から総合パーツメーカーへとより高度に、複雑にと拡がりを見せています。

未来に繋がるパーツ造りへ。

これからもフセラシは「地球にやさしい先端技術」で社会に貢献し、協豊会の一員として努めさせていただきますので、今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

2011年7月1日